

東四つ木地域の施設一体型校舎整備 基本構想・基本計画（案）



葛飾区
葛飾区教育委員会

基本構想・基本計画とは

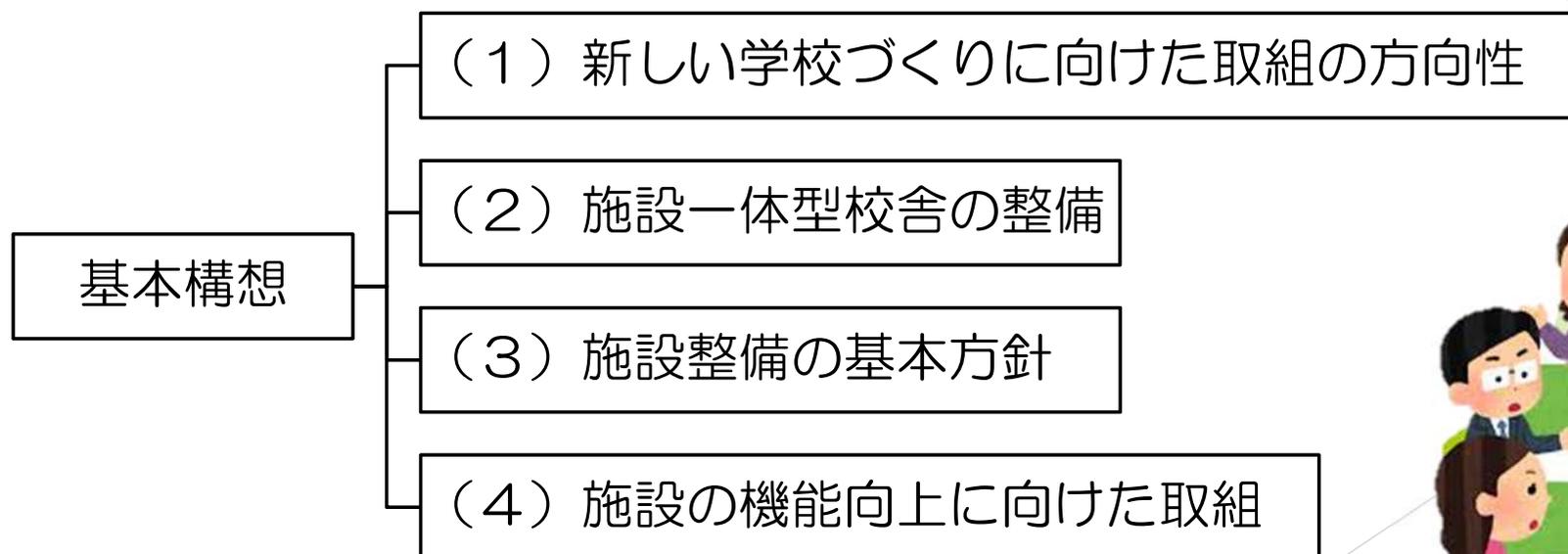
新しい校舎の整備方針や予定諸室、配置案など、施設一体型校舎の整備を進めるにあたっての基本的な考え方を取りまとめたものです。



基本構想・基本計画（案）

1 基本構想

基本構想とは「新しい校舎の整備方針」をまとめたものです。



(1) 新しい学校づくりに向けた取組の方向性

- ① 木根川小学校と渋江小学校の学校統合を行い、小学校の適正規模である12学級を安定的に確保します。
- ② 統合した小学校と中川中学校の施設一体型校舎を整備します。
- ③ 施設一体型校舎は、東四つ木地域の比較的中心部に位置し、一定の敷地面積が確保できる木根川小学校の敷地を活用します。

(2) 施設一体型校舎の整備

- ① 令和7年4月に木根川小学校と渋江小学校を学校統合。渋江小学校敷地で学校運営。
- ② 空校舎となる木根川小学校敷地に施設一体型校舎を整備。(令和8~10年度を予定)
- ③ 施設一体型校舎竣工後、統合小学校と中川中学校が新校舎に移転。(令和10年度を予定)



(3) 施設整備の基本方針

- ① 小中連携教育の推進
- ② 地域のシンボルとなる学校づくり
- ③ 創造的な学習空間の実現

(3) 施設整備の基本方針

① 小中連携教育の推進

ア 小学校と中学校の校舎を一体化するに当たり、小学校と中学校を分けながらも、より連携教育を行しやすい諸室配置とします。

イ 児童・生徒が進級に伴って自らの成長を実感できるように、施設面での工夫を行います。

ウ 校舎を高層化する場合には、毎日の階段の上り下りが負担と感じないように、ゆとりある動線を確保します。

(3) 施設整備の基本方針

② 地域のシンボルとなる学校づくり

ア 「木根っ子村」のように、地域とつながる交流の場としての自然空間を整備します。

イ 児童・生徒がそれぞれの学校の歴史や伝統を継承し、また、新しい地域の担い手としての役割を果たせるように、歴史資料の展示スペースや和室空間の在り方を検討します。

(3) 施設整備の基本方針

③ 創造的な学習空間の実現

ア 教育ニーズの変化に弾力的に対応でき、目的に応じ、間仕切りなどによる変更が容易に行える教室を整備します。

イ 屋外活動を充実させるため可能な限りの校庭の拡大と、小学校と中学校がそれぞれの教育活動に柔軟に対応できるように、中川中学校敷地や中土手の活用を踏まえた施設配置を行います。

（４）施設の機能向上に向けた取組

- ① 諸室機能の考え方
- ② 快適で居心地の良い学校づくりの考え方
- ③ 安全・安心な学校づくりの考え方
- ④ 維持管理に配慮した簡素で効率的な学校づくりの考え方

（４）施設の機能向上に向けた取組

① 諸室機能の考え方

- ア 児童・生徒がグループ学習や全体での発表・討論などの学習方法で能動的に学ぶことができるようにするため、「普通教室」を拡大します。
- イ 児童・生徒が主体的に考え学ぶ自学自習を習慣づけられるようにするため、「学習センター（学校図書館）」を整備します。
- ウ 特別支援教室に通う児童・生徒一人一人の教育的ニーズに応じて、その持てる力を高められるように、個別指導や小集団指導に対応できる環境を整備します。

(4) 施設の機能向上に向けた取組

② 快適で居心地の良い学校づくりの考え方

- ア 児童・生徒にとって、学校は「学びの場」であるとともに「生活の場」でもあるため、木材を積極的に活用して温かみのある生活空間を整備します。
- イ 快適で居心地の良い空間をつくるため、自然採光や通風を確保し、室内の色彩や形状も工夫します。
- ウ 児童・生徒がその時々の状態に応じて居場所にできる小空間・コーナー等を整備し、学習空間と有機的に関連付けて配置します。

(4) 施設の機能向上に向けた取組

③ 安全・安心な学校づくりの考え方

ア 地域の避難所としての機能を確保するため、災害時を考慮した諸室配置と防災機能の設備整備を行います。

イ 体育館は2階以上とし、近接した場所に備蓄倉庫を配置するなど、浸水対応型市街地構想に基づく浸水対応型拠点建築物^(※1)として、水害時にも避難所機能を維持できるようにします。

ウ できる限り死角を無くすようにするため、昇降口、職員室、保健室は、校庭を見渡せる位置に配置します。

エ 児童が放課後などを安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができる環境を整備します。

(4) 施設の機能向上に向けた取組

④ 維持管理に配慮した簡素で効率的な学校づくりの考え方

ア ゼロエミッションかつしか^(※2)の実現に向けて、「ZEB^(※3)」を見据えた高断熱化及び高効率な省エネルギー設備を備えるとともに、自然エネルギーの利用を進めます。

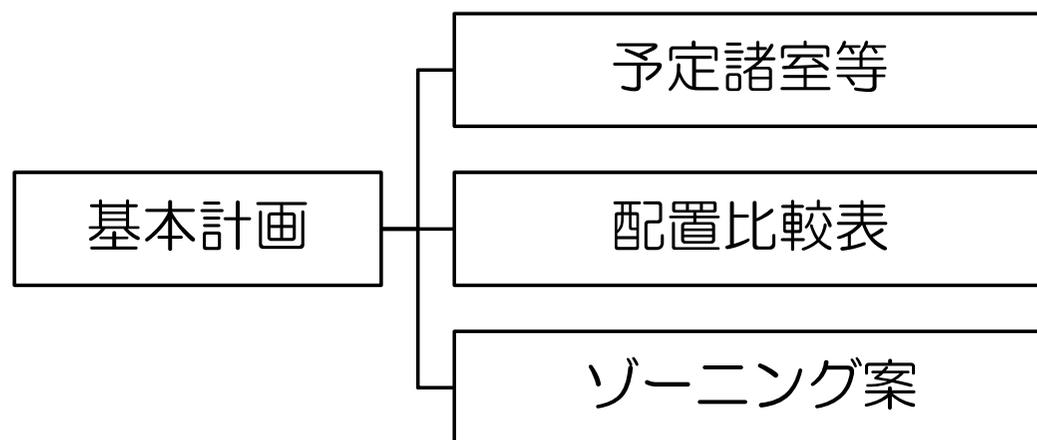
イ 修繕や更新が容易な施設とするため、分かりやすく明快な諸室配置とし、長寿命・高耐久、維持管理の容易な部材・機材を採用します。

ウ 清掃、点検・保守などの作業を効率的かつ容易にするため、設備関係諸室、配管スペースなどは、面積・形状、階高、各室の天井の高さを工夫します。

基本構想・基本計画（案）

2 基本計画

基本計画とは「新しい校舎の概要」をまとめたものです。



改築概要

(1) 予定諸室

① 小 学 校

普通教室：15室

特別支援教室：1室

特別教室：理科室、音楽室、図工室、家庭科室、学習センター（学校図書館）等

屋内運動施設：体育館

管理諸室：校長室、職員室、事務室、主事室、保健室、会議室、給食室、
児童用更衣室、地域連携室 等

改築概要

② 中学校

普通教室：9室

特別支援教室：1室

特別教室：理科室（1）（2）、音楽室、美術室、金工室兼木工室等

屋内運動施設：体育館等

管理諸室：校長室、職員室、事務室、主事室、保健室、会議室、給食室、生徒用更衣室、地域連携室 等

（2）併設施設

学童保育クラブ、わくわくチャレンジ広場室、備蓄倉庫

配置比較表

新校舎配置の検討パターン

改築条件などから実現可能な2案を軸に、新校舎の配置検討を行いました。

【北側校舎】



【南側校舎】



配置比較表

【北側校舎案】

凡例

■ : 小学校普通教室

■ : 中学校普通教室

■ : 小学校体育館

■ : 中学校体育館

--- : 既存校舎

--- : 校庭

→ : 児童・生徒動線

▶ : 出入口

▷ : 敷地出入口



改築後の教育環境	校舎面積	約12,000㎡
	階数	4階建て
	校舎の特徴	分かりやすいゾーニング 回遊性の高い校舎 日当たり良好
	校庭の広さ	約5,600㎡ (50m直線、120mトラック)
	校庭の特徴	不整形部分に菜園などを設け、校庭を整形に活用できる。
	校庭の日当たり	日当たり良好

配置比較表

【北側校舎案】

凡例

■ : 小学校普通教室

■ : 中学校普通教室

■ : 小学校体育館

■ : 中学校体育館

--- : 既存校舎

--- : 校庭

→ : 児童・生徒動線

▶ : 出入口

▷ : 敷地出入口



<p>近隣への影響</p>	<p>既存校舎が北側配置であるため、影響は同等である。ただし、校舎の形や高さが変わる分、北側や西側の一部で日影がやや増大する。</p>
<p>全体工期</p>	<p>36ヶ月程度</p>

配置比較表

【南側校舎案】

凡例

■ : 小学校普通教室

■ : 中学校普通教室

■ : 小学校体育館

■ : 中学校体育館

--- : 既存校舎

--- : 校庭

→ : 児童・生徒動線

▶ : 出入口

▷ : 敷地出入口



改築後の教育環境	校舎面積	約12,600㎡
	階数	4階建て
	校舎の特徴	分かりやすいゾーニング 回遊性の高い校舎 日当たり良好
	校庭の広さ	約4,200㎡ (50m直線、120mトラック)
	校庭の特徴	校庭が不整形となり、かつ北門からの動線を設ける分、さらに校庭が狭くなる。
	校庭の日当たり	校舎の日影が一日中、校庭に落ちる。

配置比較表

【南側校舎案】

凡例

■ : 小学校普通教室

■ : 中学校普通教室

■ : 小学校体育館

■ : 中学校体育館

--- : 既存校舎

--- : 校庭

→ : 児童・生徒動線

▶ : 出入口

▷ : 敷地出入口



近隣への影響

校舎配置が変わるため、校舎が与える圧迫感や校庭から出る砂塵等の影響のいずれかが新たに生じることになる。

全体工期

36ヶ月程度

配置比較表

配置比較のポイント

校庭の広さ・特徴

近隣への影響

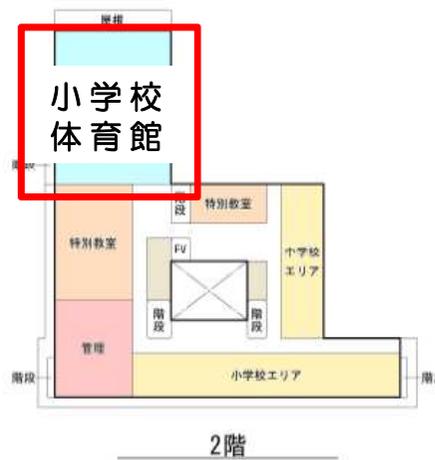
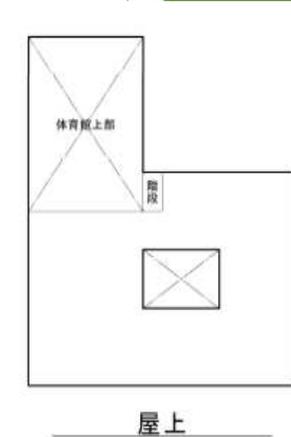
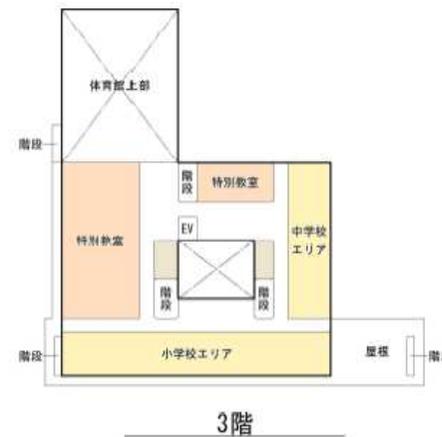
全体工期

配置比較表

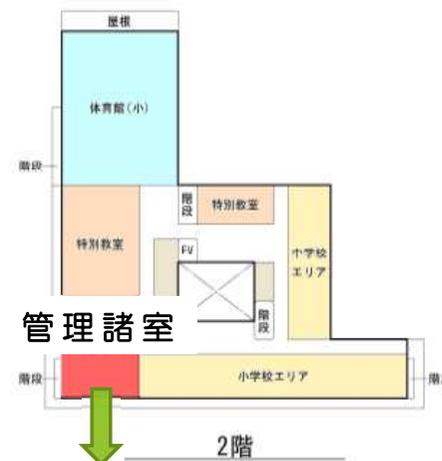
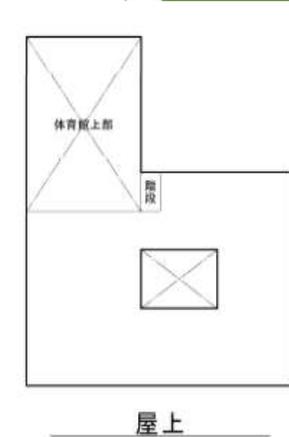
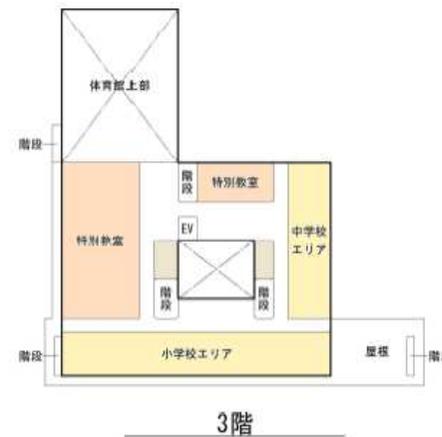
【配置比較のポイントを抜粋】

凡例	【北側配置案】	【南側配置案】
<p>校庭の広さ・特徴</p>	<p>約5,600㎡ 不整形部分に菜園などを設けることで、校庭を整形に活用できる。</p>	<p>約4,200㎡ 校庭が不整形となり、北門からの動線を設ける分、校庭が狭くなる。</p>
<p>近隣への影響</p>	<p>既存校舎が北側配置であるため、影響は同程度である。</p>	<p>校舎配置が変わるため、校舎が与える圧迫感または、校庭の砂塵等のいずれかの影響が生じる恐れがある。</p>
<p>全体工期</p>	<p>36ヶ月程度</p>	<p>36ヶ月程度</p>

ゾーニング案 (北側校舎)



ゾーニング案 (北側校舎)



用語解説

※1 浸水対応型拠点建築物・・・

2週間程度、安全に待機できる空間を有する建築物

※2 ゼロエミッションかつしか・・・

令和32（2050）年までに温室効果ガス（二酸化炭素）の排出量実質ゼロをめざす宣言

※3 ZEB・・・

Net Zero Energy Building（ネット・ゼロ・エネルギー・ビル）の略。建築物における一次エネルギー消費量を、省エネルギー性能向上や再生可能エネルギーの活用等により削減し、年間消費量が正味でゼロまたはおおむねゼロとなる建築物

アンケート



基本構想・基本計画（案）や本説明会へのご意見・ご要望などがございましたら、Web入力フォームからご記入ください。

携帯電話・スマートフォンで二次元コードを読み取ると、入力フォームにアクセスできます。



葛飾区
葛飾区教育委員会